

『かわはく』での活動 学校支援について

向 井 均

環境担当は、寄居町にある川の博物館に駐在しています。川の博物館は、「荒川を中心とする埼玉の河川や水と人々の暮らしとの関わり」をテーマとしており、県内はもとより東京や群馬など、県外からも多くの方が訪れます。ここは、遠足や社会科見学、インターンシップや総合的な学習の時間など、学校の利用がたいへん多い博物館でもあります。今回は、環境担当が日頃行っている学校支援について紹介します。



講座室での水圧の実験（体験学習）

学校支援として、荒川のかわせみ川原での水生生物調査や川原の石のコレクション、館内の講座室では水の科学的・物理的な性質を調べる実験、荒川大模型173を使った荒川の地形や川のはたらきを学ぶ体験学習があります。さらに、水生生物調査や水質検査などの結果を基に、川の環境問題や身近な環境の保全を扱った出張授業等があります。具体的には、約15の体験学習プログラムがあり、学校の要望に応じて実施しています。

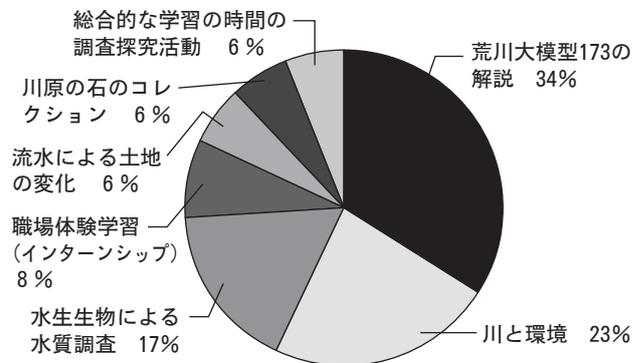


学校の砂場を使った流水実験（出張授業）



学校近くの川での水生生物調査（出張授業）

最近は、「自分たちの住んでいる地域の川や自然環境について詳しく知りたい」「学校内のビオトープや池、砂場を利用して学習したい」という要望が多くなってきています。そこで、プログラムを改良して、できる限り各学校の要望に応えられるように、出張授業の工夫改善を図っています。



昨年度実施した学校支援の内訳

その結果、出張授業を実施した学校からは、以下のような感想をいただきました。

- 学校の近くを流れる川は、思ったよりもきれいで、たくさんの種類の魚や生きものがいることがわかりうれしかった。
- 身近な川の話だったので、入り込みやすかった。実験で意外な結果が出て興味がわいた。
- 図や写真で見るとより、実際に砂場でやったのでわかりやすく楽しかった。

これからも、環境担当は川の博物館と連携を図り、学校の要望に応え、子どもたちの知的好奇心をくすぐる学校支援に取り組んでいきます。

（むかい ひとし・担当課長）